

水 土 里 ネット ちば

Chiba Prefectural Federation of Land Improvement Association



2010
SPRING

No.287

第14回写真コンテスト銀賞「5月の風にさそわれて」

CONTENTS

口絵「植木のまち匝瑳市」

新年度就任挨拶	1
平成22年度 農業農村整備事業予算	2
千葉県農業農村整備事業組織体制	4
第53回通常総会開催	6
第51回全国土地改良功労者表彰式	7
農林水産大臣賞受賞	8
安房グリーンライン完工式	12
むらづくり総合整備事業（千葉市地区）完了	14
経営体育成基盤整備事業 海上地区の完成	16
第13回千葉の水回廊ウォーク&印旛沼ウォーキング	18
土地改良施設賠償責任保険のご案内	20

植木のまち匝瑳市

匝瑳市産業振興課

黄門桜

黄門桜は山桜の一種で、ソメイヨシノより1週間くらい開花が遅く、毎年4月20日前後が見ごろとなります。この桜の由来は、飯高寺所蔵の「飯高壇林御由緒明細書」によると、「元禄11年(1698)寅春、黄門源義公様(水戸黄門)、飯高寺へ御入り遊ばしなされ、(中略)元禄12年卯春、黄門様御意にて下総佐原より飯高寺壇林まで、並木松桜植えられ(下略)」とあり、このことから約300年前に佐原から飯高壇林までの間に植えられた「並木」のうちの1本と考えられています。現存する黄門桜はここのものだけとされ、老木ながら毎年華麗に花を咲かせます。



市の玄関口 八日市場駅前のマキ

イヌマキ

匝瑳市の特産で、観賞用としても人気があり、市内の家周りにはイヌマキの生け垣が多く見られます。新緑の美しさは素晴らしく、完成されたマキは品格、品質とも植木の王様として生きた芸術品ともいわれ、《匝瑳市》のシンボルとなっています。



新年度就任挨拶



農林水産部長就任にあたって

農林水産部長

重田 雅行

4月1日付けの定期異動で農林水産部長に就任いたしました重田でございます。

日頃から、皆様には本県農林水産業の発展のため、様々な場面で御尽力いただき、感謝いたします。

本県は、大消費地に近いという恵まれた立地条件や農林漁業者の高い生産意欲と技術力に支えられ、全国屈指の農林水産県として、県内だけでなく全国の消費者に新鮮で美味しい農林水産物を供給する重要な役割を担っています。

また、最近の輸入食品の安全性に対する懸念や食料需給の逼迫傾向などから、安全な国産食品志向の高まりや食料の自給力の強化が求められている中で、農産物の主要生産県である本県の果たすべき役割は一層大きくなっています。

しかしながら、平成20年の本県の農業産出額は、4,216億円と、前年に比べ97億円増加したものの、全国順位は前年の2位から、北海道、茨城県に続く第3位への後退を余儀なくされました。

このような中、県では、平成22年3月に中長期的な視点に立った県政全般に関する総合的な計画として、県民の「暮らし満足度日本一」を基本理念とする「千葉県総合計画『輝け!ちば元気プラン』」を策定しました。

総合計画における、農林水産業及び農山漁村の振興については、「地域を支える力強い農林水産業」を10年後の目指す姿とし、本年度から24年度までの3年間で、販売施策「光り輝く千葉の魅力発信」、生産・担い手施策「農林水産業の生産力強化と担い手づくりの推進」、地域づくり施策「緑豊かで活力ある農山漁村づくりの推進」の3施策に重点的に取り組むこととしました。

施策実施の具体策としては、意欲と能力のある経営体が生産性の高い営農を展開できるよう、農地をまとまった形で担い手に集積する仕組みを県内全域に導入するとともに、区画整理や用排水施設などの生産基盤整備の推進を図りながら、湿田を多く抱える本県水田の有効活用を進めるため、飼料用米の生産拡大や米粉の利用拡大を推進していく所存です。

これらをふまえて、農林水産部に係る平成22年度の当初予算は、農家などの意欲や地域の創意工夫を積極的に引き出し、最大限の効果を発揮できるよう、とりわけ農業産出額全国第2位を奪還し、本県農業の確固たる地位を築くため、事業の緊急性、効果などを十分に検討し「選択と集中」を図った結果、約457億円を農林水産部の一般会計予算として確保しました。

すでにご承知のとおり、米の戸別所得補償制度の財源確保のため国の土地改良事業予算が対前年度比36.9%と大きく落ち込み、本県の農業農村整備事業予算も新交付金(農山漁村地域整備交付金)の活用と合わせても大幅削減は避けられない状況となっています。

このような状況であるため、本県の農業農村整備事業関係においては、担い手の育成をはじめ、農地の利用集積を促進する基盤整備事業を推進するとともに、地域農業を支えている基幹的な農業水利施設を計画的に更新し、維持管理費の高騰を抑え水利施設の延命化を図るストックマネジメント事業などに重点を置きながら、今まで以上に県内農家にとって真に必要な事業の計画的実施に努めてまいります。

最後に、今度とも本県農林水産業の発展と農業農村整備事業推進へのご支援、ご協力をお願いするとともに、皆様方のご健康とご発展をご祈念申し上げまして就任の挨拶といたします。

農村整備事業予算

千葉県農林水産部

農林水産部耕地課と農村振興課が所管する主な事業の予算内訳はつぎのとおりです。

(単位:千円)

農村振興課

事業名	平成21年度	平成22年度	
	事業費	事業費	地区数
<農業生産基盤整備事業>			
1 土地改良総合整備事業	6,000	0	
2 基盤整備促進事業	76,000	109,000	2
小 計	82,000	109,000	2
<農村整備事業>			
3 農業集落排水事業	677,280	362,000	2
4 農村総合整備事業	127,000	72,000	1
5 むらづくり総合整備事業	62,100	0	0
6 中山間総合整備事業	100,000	247,000	1
小 計	966,380	681,000	4
農業農村整備事業費 計	1,048,380	790,000	6
<調査・管理等>			
7 農地・水・環境保全向上対策	880,000	838,000	
内訳 1. 共同活動支援交付金	816,000	766,000	
2. 営農活動支援交付金	64,000	72,000	
調査費・管理費等 計	880,000	838,000	0
合 計	1,928,380	1,628,000	6

※平成21年度は6月補正後の予算、平成22年度は当初予算

※金額は、割り当て事業費ベース(事務費除く)

※地区数欄()内は、ソフト事業地区数を示し外数

2010年春の叙勲

～元香北土地改良区理事長 金子正雄氏が旭日双光章～



昭和54年から昨年まで、30年の長きにわたり土地改良事業の推進にご尽力いただきました金子正雄氏(80才)におかれましては、このたびの春の叙勲で「旭日双光章」を受章されました。

香北地区は昔から常習的な湛水と洪水に悩まされてきた土地で、氏は、洪水被害の防止や解消のための事業の必要性を唱え、地域の推進リーダーとして県営湛水防除事業の事業化に奔走。また、経年老朽化により漏水事故が多発していた地区の石綿管布設替工事の必要性を農林水産省などの関係機関に繰り返し要望し、県内で初めての地区として特定農業用管水路等特別対策事業を着工するなど、とりわけ当地区の農業経営の安定に多大な功績を残されました。また、土地改良区理事長はもとより、千葉県土地改良事業団体連合会理事並びに香取郡市土地改良協会長の要職も務め、団体の適正な運営に関してその手腕を発揮されました。このたびの受章には、関係者一同心よりお祝い申し上げますと共に、今後ともますますご健勝でご活躍されますことをお祈り申し上げます。

◆県営湛水防除事業「香北地区」

総事業費：32億円、受益面積：1,827ha、受益戸数：1,640戸、工期：H8～H22

◆特定農業用管水路等特別対策事業「香北第1地区」

総事業費：14億7千万円、受益面積：557ha、受益戸数：619戸、工期：H19～H24

千葉県農業農村整備事業組織体制

(平成22年度)

農林水産部

部長(事)	重田 雅行
理事(事)	古澤 昭彦
次長(事)	中岡 靖
次長(技)	平山 利夫
技監(技)	薄井 厚

耕地課

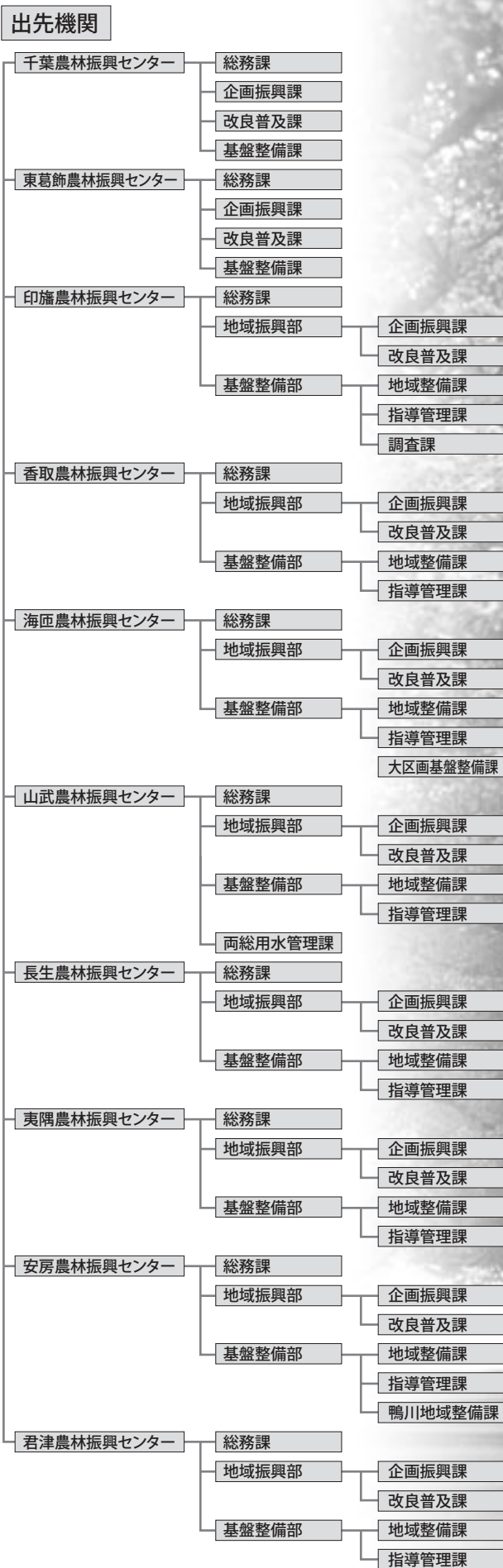
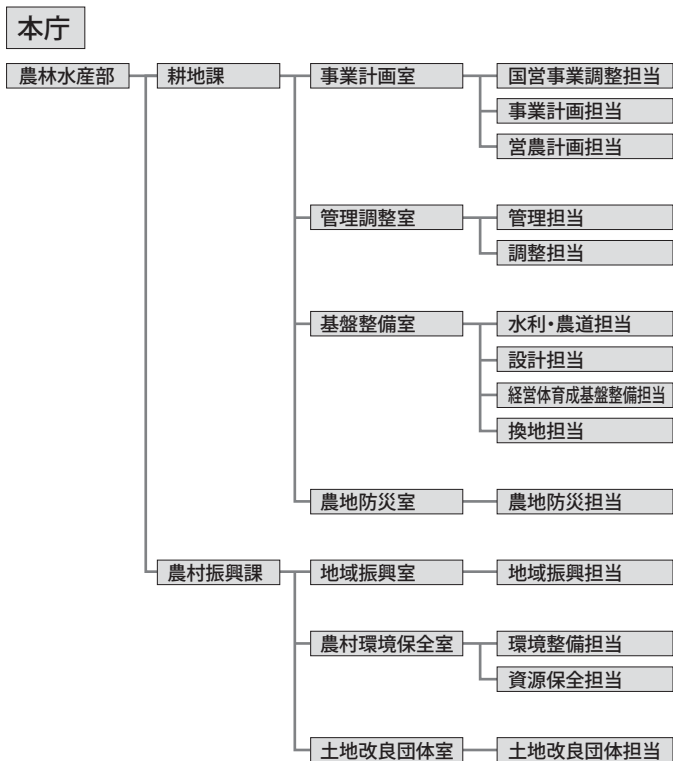
課長	木林 浩司
副課長(事)	椿 清志
副課長(兼)農地防災室長	高野 司
事業計画室	室長 井上 俊也
管理調整室	室長 尾高 範孝
基盤整備室	副技監(兼)室長 小橋 純

農村振興課

課長	山本 泰三
副課長(事)	道上 みゆき
副課長(兼)農村環境保全室長	小倉 千生
地域振興室	室長 田中 雅史
土地改良団体室	室長 櫻田 実

出先機関

千葉農林振興センター	所長	五十嵐 昇	基盤整備課長	藤崎 仁
東葛飾農林振興センター	所長	森川 正己	基盤整備課長	伊小萩 宏示
印旛農林振興センター	所長	瓦井 哲夫	基盤整備部長	橋本 堅太
香取農林振興センター	所長	五十嵐 福男	基盤整備部長	横山 隆一
海匝農林振興センター	所長	森田 春雄	基盤整備部長	宇井 哲也
山武農林振興センター	所長	鈴木 大作	基盤整備部長	綱 康次郎
//			両総用水管理課長	山下 博行
長生農林振興センター	所長	深山 純行	基盤整備部長	荻原 重雄
夷隅農林振興センター	所長	伊藤 靖雄	基盤整備部長	山下 一土
安房農林振興センター	所長	長嶋 孝志	基盤整備部長	長澤 政二
君津農林振興センター	所長	伊藤 道男	基盤整備部長	松田 晴夫



農業土木職員 230名
(内、再任用職員33名)



第53回通常総会開催

～平成22年度予算15億3千万円の決議等10議案を議決～

水土里ネット千葉 総務部

水土里ネット千葉(千葉県土地改良事業団体連合会)第53回通常総会が平成22年3月23日千葉県土地改良会館において、多数の会員並びに来賓を迎え盛大に開催されました。



菅谷会長のあいさつ

はじめに菅谷健一会長が主催者を代表して挨拶し、その後、多年にわたり本県の土地改良事業の推進に貢献された功労者10名が県土連会長表彰を受け、その功績が讃えられました。

来賓には中川関東農政局次長、酒井千葉県議会議長並びに千葉県から依田農林水産部長ほか農林水産部幹部職員を迎え、それぞれ祝辞を頂戴し前半のセレモニーを終了しました。

後半では、篠本新井土地改良区の鈴木克征理事長が議長に選任され議事に入り、予め提出された議案は第1号議案から第10号議案まですべて原案どおり承認可決されました。

◇土地改良功労受賞者の皆さん

市原市市場土地改良区	理事長	石塚 功
利根土地改良区	事務局長	長妻光好
印旛沼土地改良区	(元)副理事長	山下孫四郎
香取市水郷土地改良区	理事長	石橋和夫
千葉県干潟土地改良区	清滝支区長	岩崎好治
山武郡東部土地改良区	事務局長	秋葉上司
長生郡一宮町東部土地改良区	理事	池田貞男
勝浦市土地改良区	理事	菅根光雄
白浜町長尾土地改良区	理事長	吉田良雄
君津市浦田土地改良区	(前)理事長	川名源治 (敬称略)



菅谷会長と功労者の皆さん
※残念ながら当日は岩崎さん、菅根さんが所用のため欠席でした

注意!!

総会資料の扱い

土地改良区の総会(総代会)の資料は、基本的に公表資料となります。資料の扱いについては、次の事項に留意してください。

- 個人情報については特に注意すること(賦課金未納者など)
- 公開すべきでない資料と判断される場合は、回収するなど、適切な処置をとること
- 公開する場合は、事前に確認をもらうよう要請すること
- 総会(総代会)で議決を必要とする、理事会等の資料については、原則非公開とすること

第51回 全国土地改良功労者表彰式 農業農村整備優良地区コンクール表彰式

開催

水土里ネット千葉 総務部・技術部

去る3月26日東京都千代田区の砂防会館別館「シェーンバッハ砂防」において第51回全国土地改良功労者表彰式並びに農業農村整備優良地区コンクール表彰式が開催されました。



菅谷土連会長と本県受賞者の皆さん

全国土地改良功労者表彰

この表彰は土地改良事業の推進や土地改良区の運営に著しい功績のある団体や個人に対し贈られるものです。

このたびは、農林水産大臣表彰優良土地改良区が全国で5地区、金章表彰36地区、銀章表彰60地区、銅章表彰45地区、個人表彰96人が受賞されました。

表彰式では多数の関係者を迎え、野中全国水土里ネット会長のあいさつに始まり、続いて表彰に移り、本県からは次の団体や個人の方々が表彰の栄に輝きました。

土地改良功労受賞者

[団 体]

- 金 章 千葉市東部土地改良区
- 銀 章 市原市海上土地改良区
- 銅 章 印旛郡栄町北辺田矢口土地改良区
- 銅 章 君津市向郷土地改良区

[個 人]

- 袖ヶ浦市平川東部土地改良区 理事長 石川 滉
- 両総土地改良区 事務局長 鵜崎勝善 (敬称略)

農業農村整備優良地区コンクール ～北中村地区(峰谷宮農組合)が農林水産大臣表彰を受賞～

この表彰は事業を契機として、効率的かつ安定的な農業の展開を積極的に推進している地区及び団体に贈られるものです。

平成21年度農業農村整備優良地区コンクールでは、農林水産大臣賞3地区、農村振興局長賞4地区、全国水土里ネット会長賞の10地区が表彰されました。

北中村地区は、県営担い手育成基盤整備事業の実施に合わせて、担い手2名(認定農業者)と新たに1営農組合を設立し、地区内の農地の利用集積を図り、平成20年度の集積率が56%に達し、事業計画を上回る実績となったこと等が評価されました。



峰谷宮農組合 片岡忠洋氏

平成21年度農業農村整備優良地区コンクール
(農業生産基盤整備部門)
“農林水産大臣賞”
受賞地区紹介

千葉県いすみ市 集落一経営を目

はじめに

今回の農林水産大臣賞受賞はまさに予期せぬ出来事でありましたが、ここでは、峰谷営農組合の活動についてご紹介させていただきます。

冒頭「予期せぬ出来事」と述べましたが、これには主に二つの理由があります。一つには、そもそも「ほ場整備事業」を必要としたのは集落営農を行うためであり、その意味においては、単に「予定どおりに進めている」というだけに過ぎないこと、そして二つ目は、所詮、北中村地区の半分にも満たない小さな集落(峰谷工区)であるということです。

では何故それがとなりますが、私なりに推測しますと、「自分たちのやり方を一所懸命に考えた」ということではないかと思えます。実は私たちは、構想時から現在まで十余年の間、先進地視察を一回も行っていない。既定の概念に囚われることなく、ただただ集落内を観て問題を見つけ、どうすべきかを考える。そうしてきたのですが、或いはそのやり方が一種の独自性を生み、今回の評価に繋がったのではないかと思うのです。

いずれにしても、自分たちのポジションなど全く分かりませんし、頓着しない、そのような組織であるということをお断わりいたしまして、以後を述べさせていただきます。

1 集落営農構想からほ場整備事業へ

農業を継続させ、集落を維持する。そのためには「何とかしなければならない」と私たちは考えていました。いずれ米の輸入自由化が行なわれるであろうし、所得の低下で農業機械への過大な投資もできなくなるであろうし、それに高齢化と人口減少が加わって、農業の継続と集落の維持は不可能になると想定していたからです。

そこで、「何とかする」ためには社会批判よりも先ず「自分たちが最大限の努力をする」ことであるとの認識に至り、更に検討の結果、「一会計の集落営農」にすべきとの結論に至ったのです。平均耕作面積が1haに満たず、専業農家の居ない小農家ばかりの集落ですから、合理化のためには当然の結論といえるかも知れません。

なお、現在当集落でも「農地・水・環境保全向上対策」を実施していますが、振り返って考えて見ますと、当初私たちの望んだことはこの事業の目指すところに近いものであったと気付かされます。営農活動と集落の保全は一体不可分なもので、私たちがそこに暮らす根拠となっているからではないかと思えます。

そして、次は基盤を何とかしなければならないというのが必然です。俗にいう一反割りの区画でしたから、さすがにそのままでは集落営農も不可能で、ほ場整備事業が必須の条件ということに誰一人異論はありませんでした。

また、地形上止むを得ないものを除き個人の畦畔は一切設置しないで、可能な限り区画を大きく

北中村地区^{みね}峰谷^や営農組合 指した取り組み

みねや
峰谷営農組合 副組合長
小高 好展

することとして進めました。集落一会計の営農を前提とするわけですし、作業効率からしても管理上からしても設置しない方が良いのは明白で、これもまた当然といえば当然です。

集落営農について具体的な話となったのが平成8年度です。そして組織形態・規模の検討、収支の試算等と独自に進め、ほ場整備事業の開始は平成11年度となりました。事業開始後は、峰谷工区の工事委員会、換地委員会、営農対策委員会がお互いに協力して進めることとしました。

ちなみに、事業費の特別賦課金は経常賦課金と合わせ全て峰谷営農組合が負担していますから、賦課金に係る問題については全く発生していません。

2 営農組合設立

平成15年度に当集落(峰谷工区)の区画整理工事が実施され、これに合わせ、平成16年1月に峰谷営農組合を設立、直ちに営農活動を開始しました。

設立に当たっての運営方針は次のとおりです。

- ①組合員から賦課金を徴収しない
- ②当面、組合員の持つ既存の施設、機械を最大限に活用する
- ③無い機械はリースを受ける
- ④設備投資は極力抑え、その後、必要最低限で計画的に行っていく
- ⑤基本的に借金はしない
- ⑥国の施策にも合致した形で運営する
- ⑦正確な会計で社会的責任を全うする

組合員の持つ農業機械は、過剰投資分だけで約7千万円にも上っていましたが、取り敢えず有るものですからこれを有効活用する。作業場、ビニールハウス等の設備も既存の利用できるもので間に合わせる。そして、これ等の老朽化に合わせ、段階的に組合所有の機械、設備に切り替えて行く。これが基本の方針です。

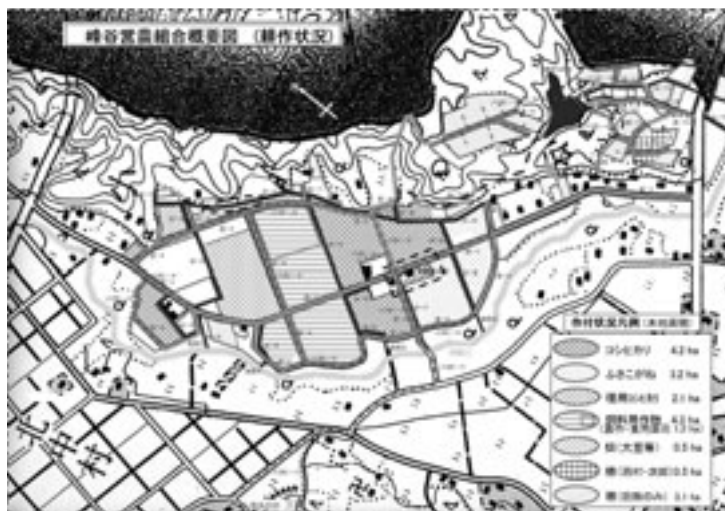
いきなり設備投資にお金を掛け負債を抱えれば、先行き不安で役員の負担は過重となり、組合員も心配をせざるを得ません。そもそも私たちは、農業は利息を払いながら成り立つほど甘いものではないと思っていましたし、機械や設備の無いことが財産であると思っていました。

いずれ、組合所有の機械、設備へと移行しますが、その時の全体的コストを組合員に支払っていた作業料金の範囲内に収めれば、新たな負担を発生させることなく営農の継続が可能となります。

峰谷営農組合は任意組合としてスタートしましたが、一会計方式ですので「見なし法人」として国にも認められ、これにより様々な事業展開が可能となりました。

3 組合運営と営農展開

現在、峰谷営農組合は設立から6年が経過したところです。前述しました運営方針に従って、概ね予定どおり、ほぼ順調に運営されています。作業場、トラクター、コンバイン等、組合所有の施設、機械に切り替えているものもありますが、組合員から賦課金は徴収していませんし、借金もしたことはありません。また、赤字にもなっていません。



峰谷営農組合の概要は次のとおりです。

- 組合員 22名(22戸) 理事9名 監事2名
- 事業年度 毎年1月1日～12月31日
- 営農面積 18.13 ha(水田14.08 ha、畑0.48 ha、柿園0.45 ha、同防除3.13ha)
- 耕作状況 別添概要図のとおりです。
- 所有施設 作業場116㎡ 1棟(敷地1,400㎡で今後も建設予定) ビニールハウス200㎡
- 所有機械 スピードスプレー、柿乾燥機、コンバイン、トラクター各1台
- 事業収入 年間約20,000千円

(組合員への支払い約10,000千円、設備投資約5,000千円、外部への支払い約5,000千円)

次に、組合運営と営農展開における特徴的事項を箇条書きにして示します。

- ① 一会計の営農組合なので作付け計画から作物販売までを一元的に行う(組合員が負担するのは農地の固定資産税のみ)
- ② 組合員へは作業料金(時給900円を最低基準に各種設定し、時間、面積、距離、数量で定める)を支払うほか、飯米を無償で確保する
- ③ 役員は組合長、同副のほか企画(作付～販売)、防除(病虫害防除等)、渉外(旧農家組合)、会計、庶務で分担制としている
- ④ 作業は担当役員が一元的に管理し、機械作業はオペレーターの2名が、他の作業は役員2名が主体的に行う
- ⑤ 組合員は3班に編成しており、必要により班長が指示して作業する
- ⑥ 作業料金を年齢、性別による格差は設けない
- ⑦ 組合の収支は全体として捉える(組合と組合員とでは利益が相反するところがあり、個別には赤字を許容すべき場合もある)



千葉県いすみ市北中村地区峰谷営農組合 集落一経営を目指した取り組み

- ⑧エコ農業を積極的に進める(水稲、柿、食用菜花が「ちばエコ」指定産地)
- ⑨耕蓄連携(飼料作物栽培、稲藁飼料化、堆肥還元、BM菌還元)により、畜産農家の大型機械を安価なリースで有効活用する(トラクター100PS、ロールベアラー、タイヤショベル、マニアスプレッダー等)
- ⑩育苗、籾乾燥調整にも組合員の施設を利用している(ビニールハウス、籾乾燥調整用作業場で箱、袋数で利用料を支払う)
- ⑪条件整備(進入路整備、駐車場舗装等)して「柿もぎ取り」、「食用菜花摘み」を行うほか、作物の有利販売に最大限努力している
- ⑫水田の草刈りは持ち場を設定して、その刈り取り面積により年間(年5回以上で草丈に条件)で支払っている
- ⑬組合員は年間総受領額(組合から提示し飯米分を含む)により所得税等の確定申告をします

概ね以上のとおりです。

なお、柿園の病虫害防除は、別会計で実費を面積割りして徴収のため、損益は発生しません。また、この中には集落外の非組合員4名を含みます。

4 今後の課題と展望

ほぼ順調とはいえ、未だ道半ばであります。前述のとおり、最低限の設備投資を計画的且つ確実に、それが将来に当面の課題です。当初の方針を堅持して慎重な運営を続けたいと思います。

営農面積の拡大、法人化、そして事業収入を増やすという目標もありますが、先ず重要なのは経営体制の整備であります。継続不可能となつては元も子もありません。

実は私たちは、とにかく働ける間は懸命にやろうと、お互いに話し合つて最初から決めています。その先に責任は持てないとの認識からですが、別に無責任ということではありません。

次世代に引き継いでいくことも含め、できる限りのことをやっています。

おわりに

今回の農林水産大臣賞受賞は、まさに予期せぬ出来事ではありましたが、これに携わっている私たちといたしましては、誠に身に余る喜びであります。

己のポジションも分からない頓着の無い者たちが、このような賞を受賞して良いものやると多少の戸惑いもありますが、この際、目的完遂の励みとさせていただきます。

関係機関を始め、お世話になりました皆様に厚くお礼申し上げます。また、今後一層の奮励をお約束いたしまして、変わらぬ御指導と御支援をお願いするものでございます。



安房グリーンライン完工式

安房農林振興センター

はじめに

独立行政法人森林総合研究所(旧緑資源機構)が平成13年度から南房総地域の農林業の発展のために進めてきた安房南部区域農用地総合整備事業が、平成21年度に完成しました。

この事業では区画整理A=135ha、農業用道路L=11.4kmが整備されたことから、このほど農業用道路の完工式が行なわれました。ここでは、事業の内容と完工式の報告をします。

基本構想

千葉県は、平成5年度に安房地域の恵まれた立地条件を活かした「安房地域社会農業」の確立を目指すことを基本理念として、「安房地域広域営農団地整備計画」を策定しました。安房南部区域農用地総合整備事業は、この基本理念に基づき関連事業、地域社会との連携を図り、安房地域の個性ある地域農業の活性化に貢献するために実施されました。



事業目的

本区域は、千葉県の最南端に位置し、温暖な気候を活かし、畜産、花卉、米、野菜、果樹の生産が盛んである一方で、ほ場の整備率が低く、地域内の基幹的な道路網の整備が遅れていることから、効率的な農産物流通に支障をきたしていました。

このため、区画整理と農道の整備を総合的かつ早急に実施することにより、農畜産物の流通網の確立や都市近郊としての立地条件を活かした農業の産地形成を図り、地域農林業の活性化に資することを目的としています。

なお、安房グリーンラインの全長は18kmですが、森林総研施工分はその内、11.4kmです。



事業計画

区域の所在	千葉県館山市、鴨川市、南房総市、安房郡鋸南町
総事業費	186億円
事業工期	平成13年度～21年度(9ヶ年)
事業種目	区画整理 A=135ha、農業用道路 L=11.4km
主な構造物	橋梁 6橋、トンネル 2ヶ所

／完工式



平成22年2月13日の南房総市白浜町は朝から小雨が降り、2月としても寒い日でした。完工式の会場は県営白浜中央地区土地改良事業地内のJA安房白浜支店の倉庫です。ちなみに、白浜中央地区内の安房南部農道用地や会場のJA安房用地は創設非農用地です。

当日は来賓として、千葉県副知事、地元選出の衆議院議員、県議会議員、市・町長、市・町議会議員、関係機関の長などが出席することから、朝から

緊張した雰囲気の中、受付が始まりました。開通式直後には地元有志による歩こう会も企画されており、朝から人がごった返していました。

完工式は午前10時30分から始まり、来賓の祝辞に続き、公募により決定した愛称の「安房グリーンライン」の命名者2名に表彰状が授与されました。最後に石井裕安房農林振興協議会会長の謝辞があり、完工式は終了しました。引き続き、完工式を祝って、南房総市の伝統芸能である安房八幡太鼓の皆さんによる勇壮な太鼓の演奏があり、その迫力に皆圧倒されました。

続いて、安房白浜トンネル入口付近に場所を移し、長嶋千葉県安房農林振興センター所長が司会を勤め、開通式が挙行されました。来賓によるテープカット、愛称命名者2名によるくす玉開放の後、来賓は各自の車に乗り込み、白バイに先導されて11.4kmの走り初めを行い現地解散となりました。

開通式終了後の市民歩き始めは200名を超える参加でしたが、雨のためトンネル出口付近で引き返すことになったのは、まことに残念でした。



／巨大地震の痕跡

安房白浜トンネルの北側で、工事中に奇妙な地層が発見されました。普通の地層と明らかに違うこの地層は、約200万年前の巨大地震で海底斜面をすべり落ちた砂層が液状化し、地層が分断、回転して激しく攪拌されたものと判明しました。200万年もの歳月をかけて隆起し、我々の目の前に姿を現わしたこの地層は、試行錯誤の末に最適な劣化抑制処理がなされました。説明看板が設置されていますので、南房総を訪れた折には是非お立ち寄りください。一見の価値はあります。

／終わりに

本事業の実施機関である独立行政法人森林総合研究所森林農地整備センター安房南部建設事業所は平成22年3月31日をもって、閉鎖されました。長い間、安房地域の農林業の発展のために本事業を実施していただいたことに、心から謝意を表して本稿を終わります。



「むらづくり総合整備事業(千

千葉市中田都市農業交流センターでは、大小2種類の市民農園を備え、種・苗・肥料の販売、農機具の貸し出し、栽培相談などを行うほか、園内には野バラ園・芝生広場を備え、気軽に花や緑に親しむことができる施設となっております。

「中田都市農業交流センター」

ホームページ：<http://www.nakatapark.com/>

所在地：若葉区中田町2479-35 TEL 043-228-2251 FAX 043-228-2252

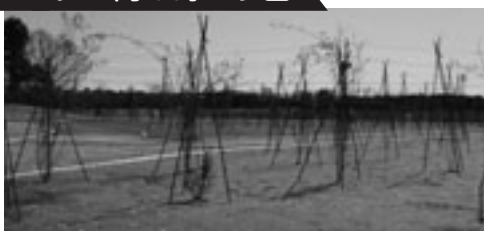
千葉市中田都市農業交流センター



市民農園



センター内の野バラ園



緑区

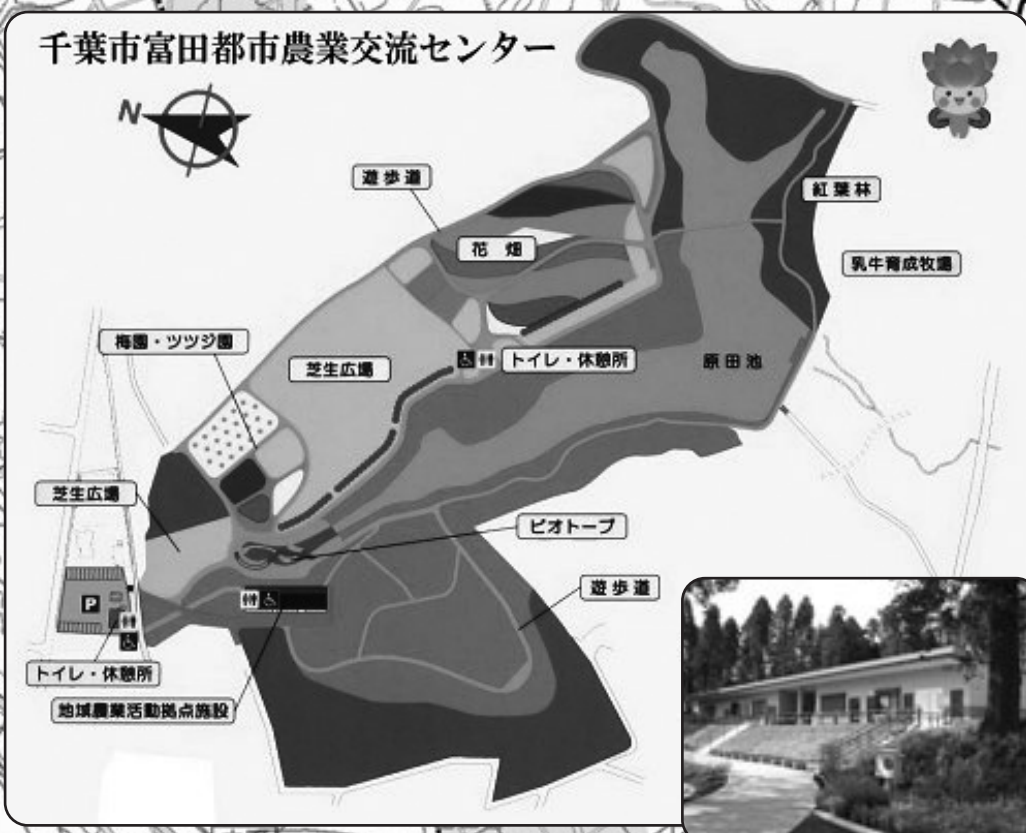


葉市地区)」が完了しました!!

千葉市富田都市農業交流センターでは、農村部の豊かな自然の中で地域との交流、研修や文化活動ができる施設として幅広くご利用いただけます。

「富田都市農業交流センター」
ホームページ：<http://www.tomita-kan.jp/>

所在地：若葉区富田町711-1 TEL 043-226-0022 FAX 043-226-0501



- 千葉市森林組合
- 千葉市農政センター
- 40・41

センター内のシバザクラ



第3研修室 (60名)



経営体育成基盤整備事業

はじめに

海上地区は、市原市の北西部に位置し、養老川に沿った平地の水田地帯です。

本事業は、「農業生産性の向上」「農業構造の改善」「土地利用の秩序化」「国土保全の機能への貢献」「食糧供給力の確保・強化」「地域の活性化」を目指して、地域の将来の農業生産を担う、効率的で安定した経営体・担い手を育成し、その担い手が地域農業の中心的役割となれるように、その必要となる区画の整理や水路、農道、暗渠等の生産基盤の整備を行いました。

当地区は、先人達の知恵と努力により、大正10年には既に10アール区画の耕地整理が実施されておりました。その後、昭和27年に土地改良区が設立され、地域の農業振興の中心的な役割を果たされてきました。

このような経過の中、将来の地域農業を考え、そして経営者の育成を目指した「経営体育成基盤整備事業」が平成8年度に着手されました。また、整備された農地や土地改良施設を母体として「海上担い手営農組合」が平成11年に設立されました。従前では8.2haだった農地利用集積面積が、営農組合の設立以降飛躍的に進み、現在では62.7haの集積が行われています。

平成8年度事業着手から14年間の歳月を要し、この程平成22年2月13日にめでたく竣工式が行われました。



竣工式

事業の概要

〈経営体育成基盤整備事業 海上地区の概要〉

- 事業年度 平成8年度～平成21年度
- 総事業費 27億4千5百万円(事務費除く)
- 事業内容
 - 受益面積 169.3ha(水田155.7ha 畑13.6ha)
 - 揚水機場 3箇所
 - 用水路工 22.2km
 - 排水路工 20.8km
 - 道路工 25.0km
 - 暗渠排水 155.7ha

海上地区の完成

千葉農林振興センター

地区の特徴

海上担い手営農組合(平成11年2月17日設立)

組合員数 5名(平成21年度時点 全員が認定農業者)

平成12年7月に「海上地区水田農業を考える会」を発足し、工事実施(通年施工)で水稲の作付けができない場所に対応するため「小麦の集団転作」を提案するとともに、ブロックローテーション方式による「農地の有効利用」を図るとともに、営農意向調査を実施し、将来の農業担い手確保や育成の重要性を啓発してきた結果、「麦の集団転作」の手法を地域に根付かせた営農組合の取り組みは、近隣地区の模範となっており、その活動を学ぼうと県内のみならず、他県からも多くの方々が訪れています。



麦作付(H21 約55ha)



大豆作付(H21 約30ha)

「海上地区地域環境保全会」による「農地・水・環境保全向上対策」



そばの作付(H21 約3ha)

活動内容は、対象面積を202haとして道路・水路等の土地改良施設の保全・管理・補修等を行い、一方では「海上そば」の産地化やブランド化への取り組みも行われ、平成21年度は約4haの作付を実施しています。

また、農業体験と食育活動のため、市原市立海上小学校児童による、そばの種まき、収穫、そば打ち等を行いこの地域の活性化にも貢献しています。



そばの刈取学習(海上小学校)



そば打ち体験

第13回 千葉の水回廊ウォーク & 印旛沼ウォーキング 開催

水土里ネット千葉 管理指導部

恒例となりました「千葉の水回廊ウォーク&疏水百選印旛沼ウォーク」が天候不順な日々が続くなか、何とか天候にも恵まれ平成22年4月3日(土)に開催されました。

今回もちば歩こう会の会員、NPO 美しい田園21の会員(ゴミ拾いをしていただきました)、県の関係者、水土里ネットの関係者、そしてチラシ等を見て参加してくれた一般の方々、多数の参加をいただくことができました。

集合場所の検見川公園では、ウォークの主催者等からの挨拶やウォークについての説明後にみんなで体操をして体をほぐしてからスタートです。

今回、このウォークにスタッフとして参加した水土里ネット千葉の職員に感想を書いてもらいましたので掲載させていただきます。



技術部 下村拓也

印旛沼ウォークは今回で2度目の参加になり、前は風景を楽しむ余裕もなくへとへとになってゴールといった感じてましたが今回の目標は、景色を楽しみながら与えられた任務をこなすことです。

その役割は10km団体歩行で参加者が安全にゴールまで辿り着けるようにサポートすることです。当日は天候に恵まれ非常に気持ちのいい日でした。

桜はまだ八分咲き位でしたが見ごたえ十分という感じでした。自分は最後尾でゆっくり話しながらの10kmで風景を楽しんでいたらあっという間に過ぎてしまいました。

途中の中間地点では飲み物といちごが配布されていて小休憩ができました。



しかも、その休憩場所が絶景ポイントで川を挟んで桜と菜の花が一面に広がっていました。森林浴しているような気分で最後まで歩けたので楽しかったです。

普段運動しないため結構疲れを感じましたが、ゴール後にいただいたビールは格別においしかったです。まだ、参加したことがない人はぜひ一度参加してみてください。



換地測量部 井上康一



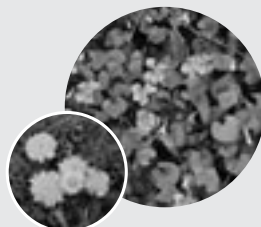
常日頃、歩く事がない人間にとってみると、10km(一番短いコースではあるのだけど)は、酷なものだ。

印旛沼ウォークの参加は2回目だった。前回の反省を踏まえ、歩きやすい格好で印旛沼ウォークに臨んだ。準備万端だったので、もちろんの事歩きやすかった。疲れもほとんど感じなかった。キャンバスシューズ

から、ランニングシューズに履き替えて歩くだけで、こうも違うのかとスポーツシューズの性能に感心した。桜が立ち並ぶ河川敷や、菜の花がコースを賑やかにしてくれていた事を思い出しながら歩いた。「結構、覚えているものだな」と、コースが把握できていたので、先が見えて気持ちを楽にして歩く事ができた……というのが、今回の印旛沼ウォークに対する私自身の反省。

あまり、私の反省についてこれ以上話してもつまらないので、菜の花の香りがうっすら漂うような感想を書かなくては、と少しは思う。

というわけで、4月3日、土曜日、曇天、調子は五分咲き(当日は、無理やり八分咲き)暖かい春の陽気に包まれた前回とは打って変わり、今年は3月からの異常な寒暖の差によってなのか、コースに咲く桜の開花を促す事ができなかったようだ。



そのため、コースを歩いている間、満開の桜からこぼれ落ちる花びらを目で追いながら歩くというわけにはいかず、少し華やかさには欠けるかな、と残念な気持ちもあった。

しかし、前に歩いた時には、あまり気に留めなかった小さな花や、川でゆったりくつろぐ亀などに視線が向かい、印旛沼ウォークの新しい楽しみ方を発見する機会に恵まれたと思う。

それに加え、自然の中を歩きながら、スタッフ(一般参加も含め)と一緒に務めた人達と、話しながら歩くというのも——仲の良い友人とも、自然の中を歩きながら話すという事は、あまり経験がないので——とても、贅沢な時間だなと思ったりもする。

コースに咲く桜は満開ではなかったが、さくら祭りが行われていた大和田機場は、花見にもってこいだと思えるほどに賑わっていて、桜が笑っているようだった。

午後になると雲は晴れ、陽気に包まれた機場に咲く満開の桜の美しさや、桜の木下で賑やかにしている人達を見て、私も花見を楽しみながら参加して良かったなあと感じた。

来年もこうして春になったら、後援として参加したいと思う。来年の今頃、歩くのに嫌々な態度を示しながら、内心わくわくしているだろうから。

単なる余談なのだけど、今回の印旛沼ウォークで最も印象に残ったのは、2匹の鯉だった。昼前、ゴールの大和田機場に近づく頃、空から日差しが注いで、水面に反射した陽光の欠片が遊んでいるのを眺めた。川には、鯉のカップルがデートの最中で、寄り添いながらゆっくりと泳いでいる。そんな姿を見ながら、大きく息を吸い込むと私の肺は、春の香りや陽気で満たされた。



橋の上から川を見下ろして、左手を目の前にかざす。鯉は私の掌に収まる、それほどの、ささやかな幸せだった。春を感じるような。そんな気がした。

万一に備えて加入しましょう

土地改良施設賠償責任保険のご案内

水土里ネット千葉 管理指導部

起きてはならないのが事故であります。日ごろ、施設管理には万全の策を施されていることと思いますが、施設の欠陥・管理ミスにより、万が一第三者に損害を与えた場合には、施設の管理者が法律上損害賠償責任を負うことになります。このような偶発的な事故に対処するため、施設賠償責任保険は、会員の皆様の申込みにより千葉県土地改良事業団体連合会が一括して保険会社と契約を結びます。昭和60年度から導入しているこの制度も年々加入者数が増加し、平成21年度では149会員(24市町村、125土地改良区)が利用しております。保険内容は下記のとおりですので、未加入の会員におかれましては、保険内容を十分検討され、加入されてはいかがでしょうか。また、すでに加入している会員におかれましては、更新の時期になりました。

下記の申込期限に遅れないよう手続きをしてください。

◆この保険で対象となる施設は

土地改良法上という、かんがい用水施設、農業用道路、農業集落排水処理施設が対象になります。
例) ※道路 ※用排水路 ※溜池 ※頭首工 ※機場水槽 ※サイフォン ※污水处理施設等

◆支払できる保険金

※被害者に支払う損害賠償金(治療費・慰謝料・修繕費等)
※裁判費用、弁護士費用等 ※応急手当の費用、護送費用等

◆保険金額・保険料(掛け金)

※保険金額〈対人賠償〉1事故につき1億円
〈対物賠償〉1事故につき1,000万円
※保険料 〈別途配布のパンフレットを参照してください〉

◆保険金を支払できない事故の例(主なもの)

※施設の建設、改築等の工事に起因する事故 ※従業員の業務上災害
※故意に起こした事故 ※地震・洪水等の自然現象による損害

◆補償期間

平成22年7月15日より1年間

◆申込期限・申込受付

平成22年6月25日(金)

水土里ネット千葉(千葉県土地改良事業団体連合会)管理指導部へ

TEL.043(241)6639(直通) FAX.043(248)2521

農林水産省
ため池百選

えっ、

こんなところに、
こんないい場所が

春らんまん

小中池

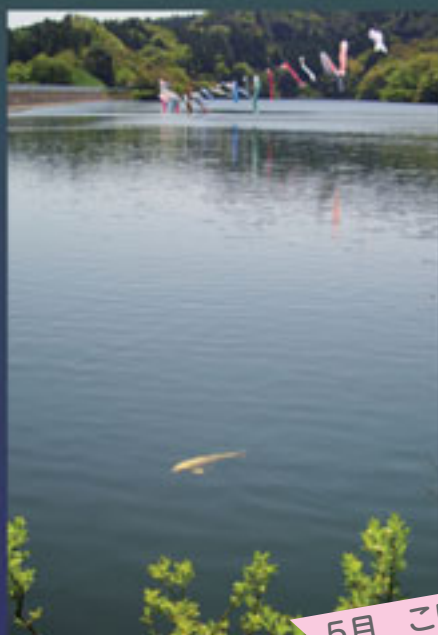
(山武郡大網白里町)



4月 桜まつり



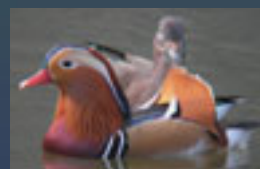
農林水産省が公募した「ため池百選」で
大網白里町の小中池が選定されました。



昭和8年に着工、22年に完成し、およそ600haの水田の
貴重な用水源になっています。

周囲は町によって公園整備がされ、周辺住民の
憩いの場となっています。

整備された遊歩道は隣接する「昭和の森」に
つながっており、また野鳥の宝庫としても
知られています。



5月 こいのぼり祭り

第16回

募集中!

美しい農村環境 写真コンテスト

テーマ 誰もが住んでみたい美しい農村環境

「誰もが住んでみたい美しい農村環境」をテーマに写真コンテストを開催しております。第16回も締切の6月末日がせまってきました。

あなたが見つけた美しい農村環境や農村におけるさまざまな動きを写真にとって応募してみませんか?千葉県内で撮影したものであればどんな写真でも構いません。些少ですが、優秀作品には賞状と副賞を、また応募していただいた方全員に粗品を進呈いたします。

応募要領

- 応募資格 千葉県内在住または在勤の方
- 応募規定
 - 撮影場所 千葉県内
 - 応募作品
 - ・カラー写真の単写真に限ります。・応募は未発表のもので1人3作品までとします。
 - ・写真サイズは四ツ切り(ワイド可)とします。
 - ・デジタルカメラで撮影した作品の場合、A4サイズでも可(デジタル写真の場合は撮影したままのもので、加工・調整した作品は応募できません。)
 - ・人物が被写体の場合は、応募者の責任により肖像権に触れないようにして下さい。
 - ・応募の際は応募票に記入し、応募作品の裏に貼り付けて下さい。(コピー可)
 - 入賞作品
 - ・入賞作品は1人1点までとします。・入賞作品の著作権は撮影者に帰属しますが、展示会や広報などのためのポスター・チラシ・ホームページ等の使用権は主催者に帰属します。
 - ・入賞作品は原版を後日提出してもらいます。(デジタルカメラの場合はオリジナルデータをCD-R等にコピーしたもの)

応募締切

平成22年6月30日(当日消印有効)
[応募先]〒261-0002 千葉市美浜区新港249-5
水土里ネット千葉(千葉県土地改良事業団体連合会)
管理指導部指導室指導班 TEL 043-241-6639

入賞点数

- 最優秀賞(千葉県知事賞) … 1点
- 千葉県土連会長賞 …………… 1点
- 特別賞 …………… 2点
(千葉県農村振興連盟委員長賞、千葉県農地・水・環境保全向上対策協議会長賞)
- 金賞 …… 1点 ■ 銀賞 …… 2点
- 銅賞 …… 3点 ■ 佳作 …… 数点

その他

入賞作品を使用して来年度のカレンダーを作成する予定しております。ぜひ、季節を感じる作品の応募をお願いします。



第15回 最優秀賞(千葉県知事賞)



第15回 千葉県土連会長賞



第15回 農地・水・環境保全向上対策賞



第15回 千葉県農村振興技術連盟賞

水土里ネットちば 287号 (平成22年5月21日発行)



発行
水土里ネット千葉(千葉県土地改良事業団体連合会)
〒261-0002 千葉市美浜区新港249番地5
TEL.043-241-1711(代)/FAX.043-248-2563(代)

印刷
株式会社ニッセイアド
〒264-0026 千葉市若葉区西都賀4-18-3
TEL.043-206-7752/FAX.043-206-7753